

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	貴自治体において第8期介護保険事業計画に記載している内容					令和3年度(年度末実績)				
	項目名	細目名	目標を設定するに至った「現状と課題」	第8期計画における「取組」	「目標」(事業内容、指標等)	中間見直し	取組の具体的な実施内容、実績	自己評価	評価の理由	課題と対応策
朝霞市	①自立支援・介護予防・重度化防止	地域ケア会議の開催	○地域ケア会議を戦略的・定期的 に実施し、ケアマネジャーだけで なく、医療職と介護職が自立支援 に資する支援のための資質向上に 努める必要がある。 ●事例提出者(ケアマネジャー) の積極的な参加につなげられてい ない。 ○自立支援型地域ケア会議で出さ れた地域課題等を共有し、資源開 発や政策形成につなげて行く必要 がある。 ●自立支援型ケア会議において、 個別事例の課題が多岐にわたり、 積み上げによる地域課題の創出等 になかなかつなげられていない。	①自立支援型地域ケア会議の開催 ②地域ケア推進会議の開催	①自立支援型地域ケア会議の開催 【事例検討数】(R3実績、R4以降目標値) R3:124件・R4:80件・R5:80件・R7:100件 ※市主催と地域包括主催の合計 ②地域ケア推進会議の開催 R3:2件・R4:2件・R5:2件・R7:2件	なし	・地域ケア会議において、地域包括支援センター が支援する方 40件、居宅介護支援事業所が支 援する方 84件、合計124件の事例を検討した。 ・医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療 法士、管理栄養士、社会福祉協議会、地域包括 ケア支援室、生活支援コーディネーター、地域包 括支援センター、居宅介護支援事業所、高齢者介 護に関する有識者、市長寿はつらつ課職員が参 加し、個別事例の検討、地域課題の共有を実施し た。 ・ケアマネジャー等から提出いただく事例につい て、テーマ設定を行い、共通の視点・課題を把握 しやすい工夫して実施した。 ・自立支援型地域ケア会議で出されたアドバイス を整理し、「ケアマネジメントにおける共通の視点」 をまとめ、ケアマネジメントの基本的な視点を共有 することにつながった。	○	・目標値を上回る事例検討数、目標どおり 推進会議を開催することができた。 ・自立支援型地域ケア会議においていただ くアドバイスを整理して作成した「ケアマネ ジメントにおける共通の視点」をケアマネ ジャーに提供し、市全体での基礎的な視点 の底上げにつながった。	・参加するケアマネジャーやアドバイザーにケア 会議の目的を伝え、事例提出者に積極的に参加 いただけるようにケア会議を運営する必要がある。 ・把握した地域課題を施策に結び付けられるよ う、仕組みの検討が必要である。 ・埼玉県地域包括ケア総合支援チーム派遣事業 を活用し、「①市及び地域包括支援センター職員 のファシリテーション能力の向上及びマニュアル の整備」と、「②アドバイザーに対する自立支援 及び地域課題抽出に向けた視点の醸成」につな がるように支援する。
朝霞市	②給付適 正化	介護給付適正化事 業の推進	本市の要介護認定率は増加傾向に あり、平成3年時点では15.6%と県 内平均より高くなっている。 それに伴い介護給付費も増大して おり、介護給付費や介護保険料を 抑制する必要がある。	介護給付費適正化の推進	①要介護認定の適正化 令和3年度4,000件 ②ケアプラン点検 令和3年度48件 ③住宅改修等の点検 令和3年度640件 ④医療情報との突合・縦覧点検令和3年度 6,000件 ⑤介護給付費通知 令和3年度7,800件	なし	①要介護認定の適正化 認定調査の内容について、令和2年度は市職員 が2,667件の点検、確認を行った。 ②ケアプラン点検 市内居宅介護支援事業所を対象に、令和2年は 48プランの点検を実施した。 ③住宅改修等の点検 住宅改修の改修内容、工事見積などの点検、福 祉用具貸与や購入の際の必要性や利用状況の 点検、合わせて448件の点検を実施した。 ④医療情報との突合・縦覧点検 業務委託により実施し、令和3年度は5,004件の点 検を実施した。 ⑤介護給付費通知 令和3年度は年3回、計7,741通の介護給付費通 知を送付した。	○	新型コロナウイルスの影響もあり、目標に 達していない項目があったため。	ケアプラン点検、医療情報との突合・縦覧点検は 新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に停止し ていたこともあり、目標件数に達することができ なかった。今後は、感染症対策を行った上で定 期的に実施する。 また、住宅改修等の点検は効果的に実施するた めに、専門職の活用が課題である。